

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 医薬品合成化学

(氏名) 栗山 正巳

(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 金属触媒を用いた反応開発
2. 生理活性化合物合成を志向した反応開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. N. Moriyama, Y. Matsumura, M. Kuriyama, O. Onomura: Stereoselective synthesis of 3-deoxy-piperidine iminosugars from L-lysine. *Tetrahedron Asymmetry* **20** (23), 2677-2687 (2009). (IF: 2.796)
2. M. Kuriyama, N. Ishiyama, R. Shimazawa, R. Shirai, O. Onomura: Efficient Synthesis of 3-Arylphthalides using Palladium-Catalyzed Arylation of Aldehydes with Organoboronic Acids. *J. Org. Chem.* **74** (23), 9210-9213 (2009). (IF: 3.952)
3. D. Minato, S. Mizuta, M. Kuriyama, Y. Matsumura, O. Onomura: Diastereoselective construction of azetidin-2-ones by electrochemical intramolecular C-C bond forming reaction. *Tetrahedron* **65** (47), 9742-9748 (2009). (IF: 2.897)
4. X. Hao, M. Kuriyama, Q. Chen, Y. Yamamoto, K. Yamada, K. Tomioka: Steric Tuning of the Amidomonophosphane-Rhodium(I) Catalyst in Asymmetric Addition of Arylboroxines to *N*-Phosphinoyl Aldimines. *Org. Lett.* **11** (19), 4470-4473 (2009). (IF: 5.128)
5. Q. Chen, M. Kuriyama, X. Hao, T. Soeta, Y. Yamamoto, K. Yamada, K. Tomioka: Chiral Amidophosphane-Rhodium(I)-Catalyzed Asymmetric Conjugate Arylation of Acyclic Enones with Arylboronic Acids. *Chem. Pharm. Bull.* **57** (9), 1024-1027 (2009). (IF: 1.623).

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Kuriyama, N. Ishiyama, R. Shimazawa, R. Shirai, O. Onomura: Efficient Synthesis of Phthalides using Arylation of Aldehydes with Organoboronic Acids Catalyzed by Palladium/Thioether-Imidazolium Chloride System, The 11th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry, Kyoto, Japan, Abstracts II p.292, 2009.11.9-13.

B 国内学会

(B-a) 招待講演，特別講演

1. 栗山正巳：C - S 二座型配位子 - パラジウム錯体を用いたアルデヒドの触媒的アリール化反応，第 3 回万有若手交流合宿セミナー，講演要旨集，p.15，2009 年 11 月 21-22 日（唐津）。
2. 栗山正巳：C - S 二座型配位子の開発と遷移金属触媒反応への適用，有機合成化学協会九州山口支部 有機合成化学講演会，講演要旨集，p.8，2009 年 11 月 20 日（長崎）。

(B-b) 一般講演

1. 森山敦，栗山正巳，尾野村治：キラル銅触媒を用いたヒドロキシリン酸類の速度論的光学分割，第 26 回日本薬学会九州支部大会，講演予稿集 p.51，2009 年 12 月 12 - 13 日（福岡）。
2. 濱水享，栗山正巳，尾野村治：電極酸化を用いる 1 - ビニルシクロアルカノールの環拡大，第 26 回日本薬学会九州支部大会，講演予稿集 p.50，2009 年 12 月 12 - 13 日（福岡）。
3. 松村慎太郎，栗山正巳，尾野村治：2 - アルキリデンプロパン - 1，3 - ジオールの幾何選択的モノアシル化，第 35 回反応と合成の進歩シンポジウム，講演要旨集 p.104 - 105，2009 年 11 月 16 - 17 日（金沢）。
4. 湊大志郎，水田賢志，栗山正巳，松村功啓，尾野村治：電極酸化を用いた分子内炭素間結合形成反応によるジアステレオ選択的アゼチジノン骨格合成，2009 年電気化学会秋季大会，講演要旨集 p.189，2009 年 9 月 10 - 11 日（小金井市）。
5. 栗山正巳，石山夏希，榎本光伯，嶋澤るみ子，白井隆一，尾野村治：含窒素複素環カルベンを基盤とする C-S 二座型配位子を用いたパラジウム触媒による有機ホウ素試薬の付加反応と応用，第 7 回次世代を担う有機化学シンポジウム，講演要旨集，p.34，2009 年 7 月 23-24 日（大阪）。
6. 森山敦，出水庸介，栗山正巳，尾野村治：キラル銅触媒を用いた DL - - ヒドロキシリン酸の不斉ベンゾイル化，日本プロセス化学会 2009 サマーシンポジウム，講演要旨集 p.88 - 89，2009 年 7 月 16 - 17 日（東京）。
7. 飯川慎也，真木俊英，栗山正巳，尾野村治：有機スズ触媒を用いる 1，2 - ジオールの選択的酸化，第 5 回有機電子移動化学若手の会，講演要旨集 p.81 - 82，2009 年 6 月 27 日（横浜）。
8. 飯川慎也，真木俊英，栗山正巳，尾野村治：有機スズ触媒を用いる 1，2 - ジオールの選択的酸化 第 33 回エレクトロオーガニックケミストリー討論会 講演要旨集 p.19 - 20，2009 年 6 月 25 - 26 日（横浜）。
9. P. G. Kirira, M. Kuriyama, Y. Demizu, and O. Onomura: Preparation of Chiral Quaternary Cyclic Amino Acids using Anodic Deallylation, 電気化学会第 76 回大会，講演要旨集，p.184，2009 年 3 月 29 - 31 日（京都）。
10. 飯川慎也，出水庸介，栗山正巳，尾野村治：水酸基活性化に基づく 1，2 - ジオールの選択的酸化，第 129 回日本薬学会年会，講演要旨集 2，p.87，2009 年 3 月 26 - 28 日（京都）。

11. 湊大志郎，出水庸介，栗山正巳，尾野村治：酸化的速度論分割による光学活性アミノ酸エステルの高効率合成，日本化学会第 89 春季年会，講演要旨集 CD-ROM, 1F4-32, 2009 年 3 月 27 - 30 日（東京）.

【特許】

1. 尾野村治，栗山正巳：光学活性 - アシルオキシリン酸エステル誘導体の製造方法，特願 2009-271049（平成 21 年 11 月 30 日）

【研究費取得状況】

1. パラジウム触媒による付加反応を鍵とするタンデム型ヘテロ環構築反応の開発，科学研究費補助金 若手研究（B）
2. 触媒的複素環構築を合成の鍵とする新規 Cdc25A 阻害剤の探索，SUNBOR GRANT（サントリー生物有機科学研究所）

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	23 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	1 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	1 件		